

1 地区名：大和町宮床地域 事業開始年度：令和5年度

(1) 主体

ワークショップ宮床会員
大和町 等

(2) 地域の概要

宮床地域は、美しい自然景観と昔ながらの技や文化が継承されている地域。

(3) 昨年までの主な活動内容

年度	実施日	内容	
R5 年度	10月21日	意向調査	地域の方3名に意向調査をした。
	10月26日	フィールドワーク①	宮城大学フィールドワークを行った。
	11月8日	意向調査	地域の方1名に意向調査をした。
	11月13日	意向調査 ワークショップ①	地域の方1名に意向調査をした。 地域づくりワークショップを行った。
	11月16日	フィールドワーク②	宮城大学フィールドワークを行った。
	12月13日	ワークショップ②	アイデアワークショップを行った。
	2月2日	ワークショップ③	宮城大発表・事務局より提案を行った。
	2月5日	打合せ	今後の方向性検討のための打合せを行った。
	2月19日	意見交換	地域の方と今後に向けて意見交換を行った。
	2月26日	意見交換	地域の方と今後に向けて意見交換を行った。
	3月5日	振り返りワークショップ	令和5年度の振り返り・令和6年度の方向性検討
R6 年度	9月2日	打合せ①	初回顔合せ、今年度の支援内容すり合わせを行った。
	9月8日	話し合い①	今年度の支援内容の説明を行った。
	10月13日	話し合い②	今年度の支援内容の説明、秋の大収穫祭に関する確認を行った。
	10月20日	活動支援①	ワークショップ宮床の活動支援と、さらなる認知の向上に向けた検討を行った。
	11月10日	話し合い③	ワークショップ宮床の定例会議にて、大収穫祭の振り返りと、今後の活動計画について話し合いを実施
	12月8日	話し合い④	課題分析、今年度の変化、そして次年度以降の方向性について提案を実施
	12月15日	活動支援②	ミニ門松づくりワークショップの開催
	2月9日	打合せ⑤	今年度の成果・今後の課題の共有及び次年度の方針と計画についての打ち合わせを実施

(4) 目標

《令和7年度の計画及びスケジュール（予定）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
収穫祭の開催 月例会	月例会	月例会	月例会	月例会	月例会 (活動企画、募 集等の検討)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワークショップ ・収穫祭開催 月例会	月例会 (活動の振返 り等)	月例会 (次年度の活 動の検討)			月例会

《長期目標及び短期目標》

	目標
長期目標 (5年後)	地域を支える人材が育成され継続した運営体制の構築
短期目標 (2年後)	1. ワークショップ宮床発信・継続力強化 ・後継者が必要であるとの共通認識の醸成 ・収穫祭(秋)で会員の活動PR強化、会員獲得 2. 運営に関わりたい人を巻き込み新規体制づくり

2 地区名：村田町沼田地域 事業開始年度：令和6年度

(1) 主体

沼田地域

(2) 地区の概要

村田町の南部に位置しており、古くからの文化と自然に恵まれた地域。

(3) 昨年までの主な活動内容 (R5年度は委託業務外)

年度	実施日	内容	
R5年度	10月7日	現地活動	地域で収穫したお米(七福神米)を袋詰め作業をした。
	10月8日	現地活動	七福神米の販売を行った。
	11月18日	柿収穫体験会 座談会	中学生に向けた柿収穫体験会を実施した。 みやぎ INAKA 応援し隊と意見交換を行った。
	3月10日	竹炭づくり	竹炭を砕き、袋詰めを行う作業を行った。
	3月18日	竹炭散布	大学生やみやぎ INAKA 応援し隊と一緒に竹炭を田んぼへ散布した。
R6年度	9月6日	意向調査	地域の現状・課題等のヒアリングを実施した。
	10月9日	話し合い①	外部人材「みやぎ INAKA 応援し隊」との交流に向けた意見交換会を実施した。
	11月10日	活動支援①	鳥獣害対策にかかる取組(柵張り)をきっかけとした外部人材「みやぎ INAKA 応援し隊」の受け入れ体制づくり支援として交流会を実施した。
	12月8日	活動支援②	鳥獣害対策にかかる取組(柵張り)をきっかけとした外部人材「みやぎ INAKA 応援し隊」の受け入れ体制づくり支援として交流会を実施した。
	1月19日	活動支援③	鳥獣害対策にかかる取組(柵張り)をきっかけとした

			外部人材「みやぎ INAKA 応援し隊」の受け入れ体制づくり支援として交流会を実施した。
	2月18日	話し合い②	第3回の交流会（1月19日）終了後に開催した役員の方々との反省会・課題等の抽出の振り返りおよび次年度に向けた方向性について話し合いを実施
	2月28日	話し合い③	協議会役員の方々との今年度の活動を通した振り返りおよび次年度に向けた方向性の検討

(4) 目標

《令和7年度の計画及びスケジュール（予定）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
		・総会	情報発信 ・関係者会議 (活動企画)	・関係者会議 (活動企画)	・現地調査 ・情報発信
10月	11月	12月	1月	2月	3月
・除草作業 ・沼田柿活用	・柵張り活動 ・沼田柿活用	・柵張り活動 ・沼田柿活用 ・情報発信	・柵張り活動	・柵張り活動 ・情報発信 ・振り返り	

《長期目標及び短期目標》

	目標
長期目標 (5年後)	1. 地域の人たちによる、継続的に地域活動を運営する体制を構築 2. 鳥獣防止柵設置後の管理体制をつくる 3. 若者などが中心となり、様々な交流活動が企画され開催される
短期目標 (2年後)	1. 企画会議を定期開催し、多様な人との交流活動を継続的に実施 2. 様々な交流機会をつくり、新たな協力者の参画を促進 3. 継続的な情報発信により、地域住民の理解を高め、活動への参加を拡大

※（参考）みやぎの INAKA 応援し隊：

県職員が、働く中で培った知識や経験などのスキルを生かしたパラレルキャリアとして、農山漁村地域を支援したい、関わりを持ちたい等の思いがある県職員で構成したグループ「みやぎの INAKA（いなか）応援し隊」を令和4年度に結成した。グループに参加しているメンバー（隊員）は業務外の活動として、地域の農作業のお手伝いやイベントの開催など、地域と話し合いを行ったうえで活動を行っている。